

学校と家庭で学力アップを 岩手県PTAリーダー研修会を開催



田口会長のあいさつ

行政説明
コミュニティ・スクールの導入に向けて

岩手県教育委員会生涯学習文化財課総括課長の佐藤公一氏からコミュニティ・スクール(CS)を中心に説明をしていただきました。

少子高齢化の進展とともに、家族構成の変化や児童生徒数・学校数の減少がさらに進むことが予想されています。それによって家庭・地域と学校の連携が希薄になることが懸念されております。そこで、

7月6日(土)、昨年に引き続き、洪民文化会館姫神ホールにおいて、今年度の岩手県PTAリーダー研修会を、開催しました。今回は岩手日報社の共催をいただきました。

当日は、県内の小中学校PTAから412名(参加率88%)の代表者に集まってくれました。

藤岡副会長による当連合会の事業説明に続いて、行政説明と講演を柱に研修を深めました。

- ▼PTA、公民館、町内会など様々な活動の主体を結集する核となるのがCS
- ▼CSは学校運営の基本方針を承認し、学校運営などに意見を述べる事ができる
- ▼CS設置により、学校を核に住民間のつながりが深まる事が期待される



佐藤公一氏による行政説明

と、CSの在り方について熱く語ってくださいました。

参加者からは、「PTAと地域の連携については、必要性を感じている。今の課題の解決の糸口を見つけた気がした」との声も寄せられました。

講演
学校と家庭で学力アップ
～PTAの役割～

家庭教育プロデューサーの酒井勇介氏から、家庭ででき



学力アップについて語る酒井勇介氏

る学習の工夫を中心に講演していただきました。

学力をアップするためには、環境と習慣が大切であるとし、「家庭での時間割」を作成することや教育に新聞を活用することの有効性について話されました。

具体的には、

- ▼新聞を広げながら、「これなあに?」「なぜ?」などと声掛けを頻繁に
- ▼暗記学習は寝る前、苦手教科は朝の時間が効果的
- ▼どの教科も楽しく学ばせることがコツ

以上のようなことを、スクリーンに映しながら、身振り手振りを交え、テンポよく語ってくださいました。

「酒井先生のお話がとても

良く、楽しい時間だった。帰ったら、子供たちと始めてみます」「来て良かった。必ず学校で、PTA役員や先生方に伝えたい」「今日の講演は、我が子が小学生の時に聴きたかった」など、参加者からも大好評でした。

